



2023年8月15日第463号
全日本年金者組合京都府本部
〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-13
☎ 075-761-3213 FAX 075-761-3214
mail nenkin-kyoto@iaa.itkeeper.ne.jp
発行責任者 山本和夫

健康保険証の廃止撤回を

現在の保険証が使用
できるようにしてください

マイナカード受診
トラブルが続発
多くの患者・国民が
不安

政府は2023年6月に、現行
健康保険証を2024年秋に廃
止し、マイナンバーカードに一本
化する法案を可決成立させま
した。

しかし、誤登録や情報漏えい、
「資格無効」と表示される等、マ
イナンバーカードでの受診によ
るトラブルが全国で多数続発し、
多くの患者・国民が不安を抱え
ています。

また、健康保険証が廃止され
れば、マイナンバーカードを持た
ない人は公的保険診療から遠ざ
けられる結果となりかねません。
これでは、国民皆保険制度の下
で守られている国民のいのちと
健康が脅かされます。

国民も、患者も、医療機関も
望んでいないマイナンバーカード
との一本化はただちにやめて健
康保険証は残
すべきです。



8月2日、18時、京都社保協が街頭
宣伝 四条烏丸で訴える楠副委員長

岸田首相さん
財界の意向ではなく、国民
の声に耳を傾けてください

今のままでも国民だれも困つ
ていないのに廃止を強行する政
府。マイナンバーカードには財界
の意向が大きく反映しているの
でしょうか。だから、廃止を撤
回できないとしたら本末転倒で
す。マイナンバーカードの作成は
強制ではありません。国民のい
のちと健康を守るため、国民皆
保険を守るため、現在の保険証

紙媒体健康保険証廃止反対の声を大きく広げましょう

をなくすなという声を国に届け
ていきましょう。

マイナンバー(個人番号)と
公金受け取り口座の紐付け

マイナンバー法等一部改正法では
「公金受取口座」の
登録促進が
盛り込まれています

法案の概要には、既存の給付受
給者(年金受給者を想定)に対して
書留郵便等により一定事項を通
知した上で同意を得た場合または
一定期間内に回答がなく、同意し
たものとして取り扱われる場合、
内閣総理大臣は当該口座を公金
受取口座として登録可能にとさ
れています。

郵便を返送しないと、登録
されます

年金受給者には法律の施行後、
日本年金機構から年金の公金受取
口座として登録するかどうか確認
を求める文書が書留郵便で届きま
す。回答しなければ同意したとみ
なされます。へ2面に続く

夕映え

ウクライナへの侵攻
は1年半になる。戦
争が日常化してし
まったと思われる。
遠い外国の話になっ
てしまっている。ミ
サイルが飛び交い、
クラスター爆弾が

使われ毎日毎日多くの人が
亡くなっているというのに
この間、日本政府はどさく
さに紛れて何をしてきたの
か。大軍拡と大増税である。
国民が目目をそらされてしまっ
た。「戦争になる前に準備が
必要だ。攻められる前に敵
をやっつける」と世論操作を
されたのが現状だ
「敵基
地攻撃があたりまえ」「武器
の増産も海外への輸出も大目
に見よう」という国民世論
を作り出しています。そのた
めのお金はまずは①大増税
で②は社会保障の切り捨て
で乗り切ろうとしている。③
国民世論の抑え込みでは自
民党や公明党に代わって維
新の会や「うさん臭い連合」
に期待しているようである
▼どつこい、そうは簡単にい
きませんよ、行かせませんよ。
私たちの周りには多くの味
方がいます。政府のたくら
みをきちんと見破っている
多くの国民がいます。その先
頭に我々年金者組合員がな
ろうではないですか。(K・Y)

「不同意」と意思表示が必要

今回の公金受取口座の登録は「高齢者の公金口座の登録割合が低いから」だとされています。高齢者は何が郵送されてきたかわからない人が多く存在します。何もわからないからと返送しなければ「登録」されたことになり、「不同意」と意思表示しないと返送しても登録されることになります。高齢者にやさしく説明し、納得の上で登録されることが必要ではないでしょうか。もし登録の用紙が郵送されれば、支部の役員さんに「こんな通知がきたけれど」と相談してください。もし、どうしても登録したくない方は、「不同意」と意思表示して返送してください。

「マイナ保険証」学習会 実施しました

山科支部では、7月21日、「マイナ保険証学習会」を開きました。講師の中村暁さんの解説では、マイナカードと健康保険証を一体化する

法律が6月2日に成立し、何もしなければ来年秋に健康保険証は廃止されます。全国保険医団体連合会が

「マイナ保険証」でトラブル大量発生を報告し、今や与党内でも慎重論がはじめていますが、政府は紙の保険証廃止方針を変更していません。これは政府が2021年にデジタル庁を創設し、国策「DX」(デジタルトランスフォーメーション)を推進しているからです。将来的にはお薬手帳、ハローワーク、在留カード、各種免許に図書館カードなどあらゆる情報も一体化し、万能の身分証明書にする計画です。

マイナ保険証を利用する受診者の医療情報が収集できるため、政府はデータを活用した創薬、治験の促進



講師の中村暁京都府保険医協会事務局長

を目指すといいますが、結局は企業が個人情報を活用し儲ける仕組みとなります。日弁連はこの制度は国や企業が国民の情報を集めるため、国民の幸福のためではないと反対しています。

さらに、国民にとっては紙の保険証が廃止されると国民皆保険という制度が危うくなります。そもそもマイナカード発行申請が難しい人が存在し、国はそういう人たちに「資格確認書」を発行するとしています。期限は5年で申請しないと交付されません。私たちは保険料を払っているのだから無条件に保険証を受け取れて当たり前です。紙の保険証廃止は国会で成立しましたが、「廃止」を廃止、少なくとも凍結させるため運動を続けていくことが必要です。

(山科支部 矢吹美根子)

補聴器学習交流会 運動広がる

全国でも京都でも、補聴器購入時の公的補助制度が広がりをみせるなか、年金者組合京都



府本部は各地域の運動を交流しあう「学習交流会」を

7月19日(水) 13時30分から教文センター203号室で開催しました。

学習交流会は、亀岡支部の小川さん、右京支部の平井さん、丹後支部の山添さん、日本共産党府会議員光永さんの4名から地域での他団体との共同した取り組みをはじめ、議会や首長との話し合い、また、学習会を積み重ね実施し、聴言センターの協力でヒアリンググループ機器を10個持ってきていただいていた実践

的に行うと「初めてよく聞こえた」などの声があった等報告がされました。

光永府会議員は、オール与党の議会のもとで、否決させないとりくみを工夫して「国への」意見書を全会派一致で採択したことや府の「独自助成」に向けた歩調を合わせて運動をすすめていきたいと発言されました。

会場発言では、加齢性でなく「中等度」以上の難聴者とした方が運動もひろがる。補助金制度は第一歩、特定検診に聴力検査を入れさせる。「低所得者」が支給基準にはいつているが、所得制限の突破が大事などの意見が多数出されました。

今後、署名運動や学習会の実施、各自治体への要求運動をすすめていくことを意思統一しました。

市バス運賃値上げ学習会 7月21日 市バス値上げストップ学習決起集会

日本一高い・京都市バス運賃値上げをストップさせようと、市バス値上げストップ・公共交通を守る連絡会が主催した「学習決起集会」を7月21日(金) 18時30分

「署名集めて、補聴器の公的補助を求める会の学習交流会」
 9月18日(月・祝) 13時30分開始
 ラポール京都第8会議室
 主催 補聴器の公的補助を求める会

ら教文センター101号室で開催しました。

佐野共同代表の開会挨拶のあと講演された北山忠生京都市議員は、京都市は、来年3月に市バス運賃値上げを狙っている。市民生活を直撃する値上げは許せないとして、日本一高い市バス運賃になった歴史的経過などを詳しく、わかりやすく説明されました。

そして、京都市がすすめている「行財政改革計画」を撤回させるために、来年2月の京都市長選挙で勝利しようと呼べられました。

会場からの発言では、「京都市内なのに市バスが走っ



京山市北の北山忠生議員、京山市議員佐野共同代表の講演の様子



最高裁女性要請行動報告と参加者の声

ていない地域がある。公共交通を通してほしい」(伏見)、「将来地下鉄が走るとい

ことで家を買ったが、現在は市内で唯一地下鉄が走っていない行政区になっている」(西京)。「来年の京都市長選挙では「行財政改革計画」を撤回させ、日本一高い市

バス運賃を引き下げさせるため頑張る」などの発言が続きました。

署名活動や学習会を行い、京都市への要請行動を行い、市バス運賃値上げを中止させるまで運動を強化しよう

と行動提起がありました。8月7日(月)16時から市長申し入れ行動も行いました。

年金裁判勝利で女性の低年金を改善させよう

矢吹美根子女性部事務局長

「年金引き下げは違憲」と訴える年金裁判もいよいよ最高裁での審理となり、女性の低年金も大きな争点と



なっています。8月2日は、「女性

の最高裁要請行動を

との呼びかけに答え、京都府本部からも女性7人、男性1人(団長・山本和夫委員長)の計8人が参加しました。最高裁門前集会には女性110人が集まり、3人の発言者の一人として中川美智子さん(長岡京支部)が訴えました。

最高裁への要請行動は、スペースが狭いという理由で人数が30人ほどに限られ、京都からは中川美智子さんと堀昭子さん(福知山支部)が参加できました。

子が「人間らしい年金を受け取れるよう、運動をすめよう」と締め括りました。

参加者の声

女性の連帯感が広がった要請行動

長岡京支部 中川 美智子

全国の「女性最高裁要請行動」に参加が出来て感謝です。力強くたくましい女性が九州から東北まで105人。「なんとかして女性の低年金」の要求を掲げ集まってきたのだから。京都原告団代表から2人、最高裁の裁判官要請行動に参加をしました。「80歳になっても働かないと生活できない」現状や女性の年金が低い根底に男女差別賃金や非正規雇用が多い事などの意見が出ました。

府の女性部のアンケート集計を裁判所判定首席書記官補佐に手渡し、裁判官に眼を通してもらうよう要請しました。「私たちの意見しっかり裁判官に伝えてもらえ

るのかな」「頼りない感じやね」と、全国の代表と話しながら報告集会の会場に向かいました。「いつも黒が多い会場も今日は華やかです」と、司会の挨拶から始まりました。要請行動の報告や女性弁護士4人からこれらの運動についての提起がありました。集会の最後に各府県の名前を呼ばれると「年金上げて」のうちわをあげて歓迎受けました。京都の代表は8名。特に拍手が多かったのが印象的でした。

女性原告の要請行動は画期的なこと 裁判官は女性の声を聞いて。

長岡京支部 近藤末子

暑いし、年(87歳)やし、ムリやと迷いましたが、行動に参加して良かったと思っています。年金訴訟の原告女性が集まり声を上げる。これは注目されると思います。手前味噌でしょうかね。

105名も集まり画期的です。女性の低年金は5万円以下が3割、10万円以下が7〜8割と言われていて長生きがよろこばせん。最高裁での裁判官は女性の行

女性の低年金は「ジェンダー不平等の積み重ね」

動と声を十分に聞いて良心を動かしてほしいと切に切に願います。勇気ももらいました。皆さん暑い中よく頑張りました。

私たちだけでなく、若い人・現役労働者にとっても大事なことです

南支部 吉田容子

要請行動に参加された人が「子どもを産み育て、40年以上働いてきたのに低い年金」「80歳を過ぎてもトリプルワークでないと」と訴えてきましたと話され胸を打ちました。

弁護士の方が、女性の低年金の苦しさ、実態を無視されている。女性の低年金は制度的につくられた事に怒り、声を出し、団結をして進めていく事が大事だと話され、そのとおりだと思いました。また、就職氷河期の若い人達の4割が非正規で低年金の予備軍、150万人といわれる40〜50代のひきこもりの人達、今は親が面倒を見ていたが、親が亡くなれば無年金になる。



る。の話は衝撃的でした。

年金裁判に勝利することは、私たちだけの問題ではなく、これからの人達にとっても大事な裁判だとあらためて思いました。

生きていける年金を保障してほしい。最高裁は最後のトリデ。憲法に基づいた判断を是非してほしいです。全国から110人の参加された事に元気をもらいました。

女性の低年金の実態を知らせ改善させていこう

南支部 井上和子

猛暑の中、全国から100名を超える女性の原告が「女性の低年金の実態を知ってほしい」の声を伝えるために、みなさんと私も参加しました。

最高裁への要請には京都からは2名が参加。それ以外は、全教会館へ移動。かえって来られた要請団の報告の中で、係員の冷たい事務的な対応の話や聞いた時は怒り心頭。続いて弁護士からのお話と意見交換と「年金引き下げ違憲訴訟の大法廷回付を求める要請書」をみんなで確認して終了しました。

最後に全員で「青い空は」を元氣一ぱい歌った時は最高に元気を

頂いた気分です。あつい1日でしたが、有意義な時を過ごさせていたいただきました。

最高裁は、憲法25条を守り、高齢者の人権を守れ!

福知山支部 堀 昭子

「女性の低年金の改善を」との思いを一念にこめ、北は岩手、南は熊本から猛暑の最高裁判所の西門に集った105名の女性たち。

「青い空」を高らかに歌いアピール。2班に別れ15名ずつの代表が一人2分程度の発言をしました。

「大法廷での憲法判断を求める!」女性の低年金のままでは暮らしていけない!物価の値上がりでもう限界だ!と切実な思いで「勢いばい」訴えました。あつという間の30分の要請行動。

京都代表の一人として参加しました。よくよく考えてみれば女性の低年金は基本的に構造上の問題があることを認識しました。行き過ぎた資本主義社会のなかで、また、働き方改革などのなかで、常にはじきだされてきたのは女性。

女性には不利な立場に追いやられてきたのだと。賃金格差もしかり。これまで、それぞれの立場で精一杯の努力をし、夫を支え、子育て

投稿

私の8月15日

野泉よし子(山科支部)

戦争中でも、お盆にはご先祖さんが帰ってきて16日には山へ帰る、昭和20年8月15日も普通にいつものように時間が流れていました。

私は母に頼まれ妹を連れて送り火を持って山に届け、そして村まで帰って来たとき、仕々に人ばかりがあるのに誰も声を出さず人がなく「シーン」とした顔をしていました。

再び戦争をさせはけません

三上悟(亀岡支部)

昭和16年8月16日、北海道を出発した日本艦隊によるハワイの真珠湾への奇襲攻撃から始まった戦争は、多くの人達の暮らしを犠牲にしました。

夕食時、いつものように弟が電灯のコードを下げて明かりを絞ろうとすると、母が「戦争は終わったんや、もうそんなこと、せんでもいいよ」と部屋がパツと明るくなりました。微用で国鉄に動員されていた長姉は、ひとりで遅い夕食をとりながら「天皇陛下の声あんまり聞こえへんかったけど、堪え難きを耐え忍び難きを忍び...ってみんな泣きながら聞いた。仇かたきは絶対とってほしいと思ってるの違うか」「仇は絶対とろうなうて話してた」と。長姉の声はみんな聞こえていたけど、相槌を打つ声はありませんでした。長姉は1人でしゃべり泣いていました。父も母も黙って知らん顔をしていました

私の父親は、昭和22年に朝鮮の釜山経由で復員帰国しましたが、体調を崩していたため65歳でなくなりしました。2軒の親戚の3人の伯父さんが戦死され、骨箱で帰ってきました。近所にも戦死者は何人かおられました。